

2019年ジュネーブ・モーターショー プジョーは電動化一色のブースで 2つのモデルをワールドプレミア

(抄訳)

プジョーはこのたび、ジュネーブ・モーターショーにて、100%電動化への最新展示をし、2つのモデルをワールドプレミアいたします。新しいプジョー208はICE（内燃機関）仕様とEV仕様、そしてプジョースポールによって開発された、ハイパフォーマンス電動化ラインの製品化の前哨となる508 PEUGEOT SPORT ENGINEERDコンセプト、さらに新しいプラグインハイブリッドガソリンパワートレインを搭載したプジョー3008、508、508SWを展示いたします。プジョーの電動化戦略は、ブースに置かれたブランドのアイコン、プジョーライオンがイルミネーションで彩られることでも表明されます。昨年のパリサロンでコンセプトカーとして展示され“ショーストッパー”となったe-Legendコンセプトもまた展示されます。それは100%の電動化と自動運転とコネクテッドに彩られたモビリティの明るく魅力的な未来の姿を提示します。

新型プジョー208とe-208：FUTURISTIC & YOUNG

プジョーはジュネーブ・モーターショーで、新型208を披露しますが、これは、プジョーのベストセラーモデルたる208の後継モデルとなります。自動車の動力源がガソリンから電気へと移行しつつあるこの時代においても、あえて、プジョーが208で提示するデザインには、あからさまに動力源を主張していません。それは、この新型208がガソリン、ディーゼル、そして電気と異なる動力源を市販時において同時に提供するからです。

プジョーブランドの中でも、この新世代の208は、若さとエネルギーに溢れる、研ぎ澄まされたデザインでグレードアップいたしました。かつてのコンセプトカー、プジョーFRACTALを踏襲する形で、新型208には好評をもって迎えられているヘッドアップディスプレイのi-Cockpit®が3D化されて新世代に、さらに上級セグメントに搭載されるようなさまざまな運転支援機能が備わっています。まさに、Bセグメントカーが新世代に入ったことを感じ取れるでしょう。

この新型208は、プジョーがこんにちのプロダクト全般で成功を納めている要素、つまりデザインの主張とプジョー独自のイノベーションと技術による差別化を掲げつつ、Bセグメントに登場します。ミラースクリーン機能と非常に高いレベルでコネクティビティを誇るTomTom®トラフィック3Dナビゲーションを搭載した新型208は、新たに半自動運転に道を開く最新世代の運転支援機能など同セグメントで最高レベルの安全性を備えています。

あたらしいBEVのe-208は、100kW（136ps）のパワーと、発進の0km/hから瞬時に立ち上がる260Nmのトルクを誇り、そのレスポンスと俊敏さとドライビングプレジャーを刺激的に感じることができます

新しいe-208をひと目見ただけで認識できるエクステリアの要素としては以下が挙げられます。

- ボディと同色のフロントグリル
- 2色のライオンマーク（見る角度により色が変化）
- リアに配された“e-208”のモノグラムとリアフェンダーにあしらわれた“e”のレタリング

508 PEUGEOT SPORT ENGINEERD コンセプト：NEO-PERFORMANCE

508 PEUGEOT SPORT ENGINEERD コンセプトは、プジョー・スポールによって開発され、今後、市販が予定されるスポーティーPHEVを示唆するものです。508 HYBRIDが革新的サルーンであるとしたら、この508 PEUGEOT SPORT ENGINEERD コンセプトは、そこから生み出された、さらにスタイリングと動力性能を向上させたモデルといえるでしょう。それは、デザイン面でより鋭く磨き上げられ、このモデルならではのたくましさを有しています。最適な効率性を追求するためのエアロダイナミクス面での研究の成果としてフロントバンパーはよりシャープな造形になり、グリルもまたフローティング・ブレードによって、さらに精悍に、ロッカーパネルにはフラップが付き、リアクォーターパネルには小さなフィンが付き、リアバンパーには新たにディフューザーが備わっています。

パール粒子が使われ光の当たりかたによって色調が変化する“セレンウム・グレー”と名付けられたこのカラーは、“クリプトナイト”と呼ばれるアクセントと組み合わせられることで、よりスポーティーかつパフォーマンスの高いこの車輛のコンセプトを、色調面からも表現しています。

プジョー・スポールのエンジニアチームのエキスパートたちが開発を担当したこの508 PEUGEOT SPORT ENGINEERD コンセプトは、ICE（内燃機関）で400ps相当の素晴らしいパフォーマンスを発揮いたします。具体的には、200psのPureTechガソリンエンジンと110psの電気モーターをフロントに、リアには200psの電気モーターを搭載した3つの動力源を持つ四輪駆動であり、驚くほどの加速性能を発揮いたします。

508 PEUGEOT SPORT ENGINEERD コンセプトは、ハイブリッド化することで実走行時の高い効率性を実現し、フル電動モードで50kmの走行（WLTP基準）が可能になります。

100%電動化されたプジョーブース

3月7日から17日までの期間で開催されるジュネーヴ・モーターショーで、プジョーは1400㎡のブースに、以下のすべて電動化された車輛を披露いたします。

- ・ **2つのワールドプレミア**：新型208とe-208、そして508 PEUGEOT SPORT ENGINEERD コンセプト
- ・ **プラグインハイブリッドとEV**：3008 HYBRID4と508 HYBRIDはこの秋に欧州で導入予定。より豊かにドライビングエクスペリエンスを刺激し、自由なモビリティを実現するための4つのドライブモードの提供。欧州では6月上旬より受注開始
- ・ **e-Legend コンセプト**：100%EVで、充実したコネクティビティとあわせ自動運転をも可能にした、希望に溢れる未来を体現
- ・ **あたらしいブランドシグネチャー**：新シグネチャー“Motion & e-Motion”を通し、エネルギー構造の転換期における課題と解決策を提示するプジョーの電動化戦略を表現
- ・ **電動化を彩るプジョーライオンのオブジェ**：2018年のジュネーヴ・モーターショーでブランドのアンバサダーとして展示されたプジョーライオンの巨大オブジェは、今年、緑と青のライティングによって、その美しい造形美にさらなる彩りを加えることとなります。エネルギーの転換期をプジョーもまた見据えていることを、このブランドエンブレムで改めて提示しています

なお、プジョーは二輪から四輪まで、包括的に車輛を提供している欧州唯一のメーカーであることから、プジョーブースには、プジョーサイクルとプジョーモーターサイクルの最新の電動モデルも展示されます。

注：本リリースにおける「電動化」（原文：electrifiedなど）とは、動力源として、ICE（Internal Combustion Engine：内燃機関）に加えて電気を使用したハイブリッド（HEV）、プラグイン・ハイブリッド（PHEV）などを含み、必ずしもバッテリーと電気モーターのみを動力源とした電気自動車（BEV）のみを指すものではありません。

PEUGEOT Press Contact

<http://press.peugeot.co.jp/>

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社
広報室 / TEL 03-6412-7362 / publicity@peugeot.co.jp

報道関係以外のお問い合わせ / プジョーコール TEL：0120-840-240

PEUGEOT

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらのDNAは、プジョーの全てのモデルに注がれています。プジョーは世界へ向けて多彩な商品を提供するメインストリーム・ブランドを目指し、緻密なデザイン、高い品質水準、そしてエモーションを融合しています。